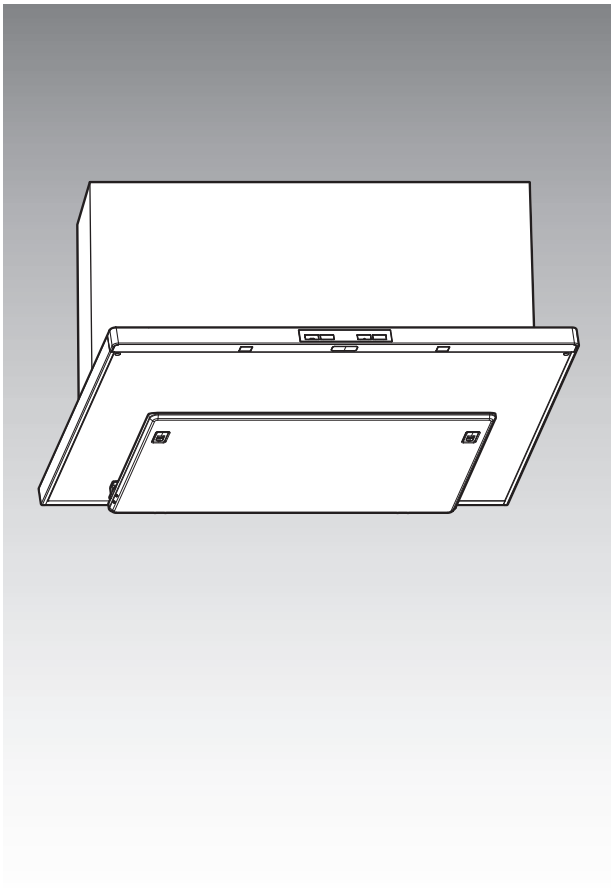
Panasonic

取扱説明書

工事説明書別添付

家庭用 フラット形レンジフード

品番 FY-60DED3
FY-75DED3
FY-90DED3



換気連動機能付

このレンジフードは、弊社換気連動機能付調理機器との組み合わせにより、調理機器と連動させることができます。
適応する調理機器は販売店にご確認ください。

もくじ

特長 …… 2〜4
安全上のご注意 …… 5
使用上のお願い …… 6
各部の名前 …… 7
使いかた …… 8〜9
お手入れのしかた ……10〜19
　適宜 ……11
　1か月に1回程度 ……12〜15
　1年に1回程度 ……16〜17
　羽根の汚れが気になったとき…18〜19
設定を変えたいとき ……20〜22
故障かな！？ ……23〜24
保証とアフターサービス …… 25
仕様 ……25
保証書 ……裏表紙

保証書付き

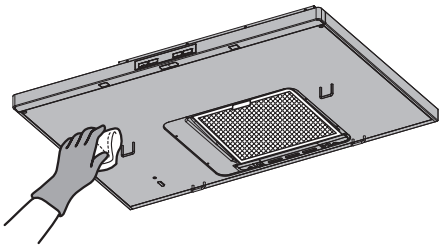
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（5ページ）を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

6DED34202-P0620-0

特長

①さっと拭ける「シンプル＆フラットボディ」

フード表面がフラット化されています。



●お掃除ラクラクコーティング＋ワンタッチ着脱

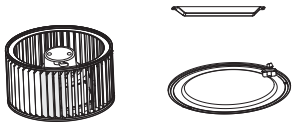
・油汚れの取りやすいコーティング（表面処理）がされています。

・ワンタッチ着脱で簡単にはずせます。

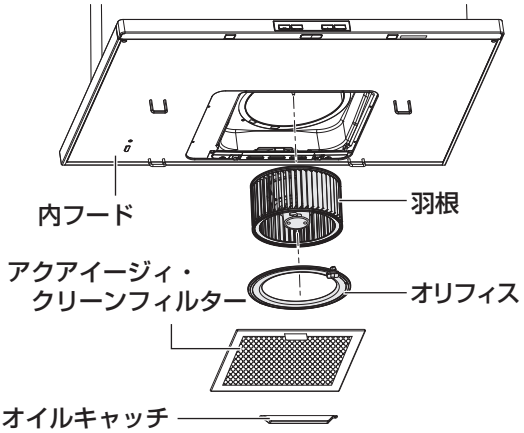
フィルター
親水性塗装（セラミック系）

油汚れが
水洗いで落とせて、
お手入れラクラク！

オイルキャッチ
オリフィス
羽根
はつ油塗装（フッ素処理）



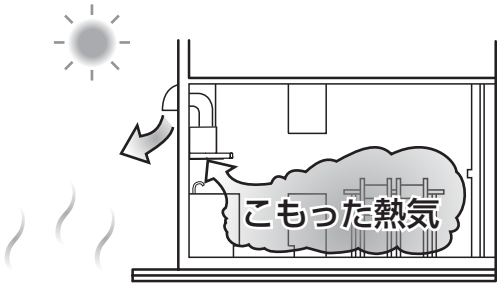
羽根・オリフィス・フィルター・オイルキャッチ・整流板



②排熱運転

室内の温度を検知し、室温が高くなると自動で強運転を開始します。

夏場の人がいないときなどに、室内にこもった熱気を室外へ強制的に排出して、帰宅時の不快感を軽減します。



③「エコナビ」で省エネ運転

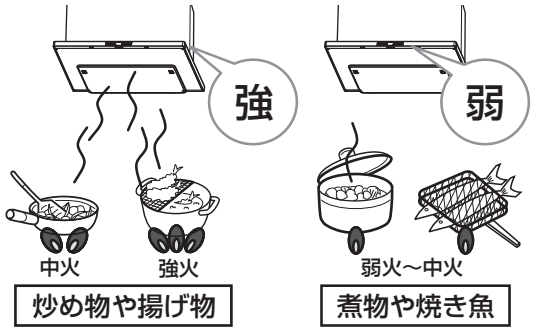
調理物の温度変化に合わせて風量を自動で調整します。

エコナビ　ボタンを押すと、エコナビ運転をおこないます。

※お好みに応じてセンサー感度を変更することもできます。（☞ 20ページ）

●動作の目安

※調理内容、火力により運転風量が変わることがあります。



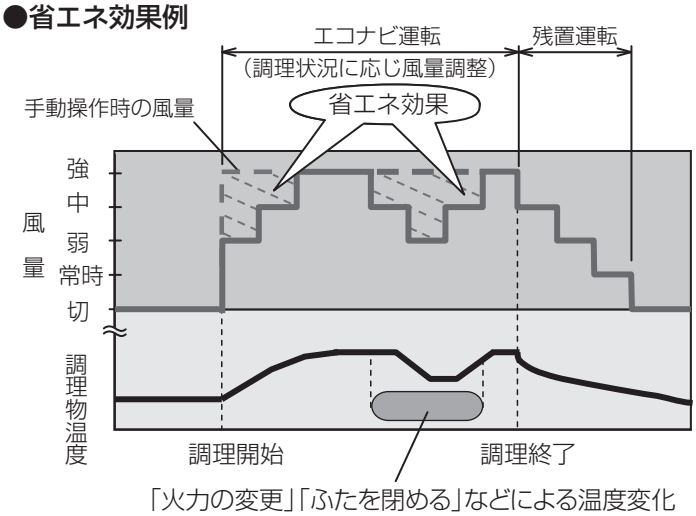
「強め」になる例

・加熱中の鍋などを移動したとき。
（調理機器のトッププレート上の移動やゴトク上の移動）

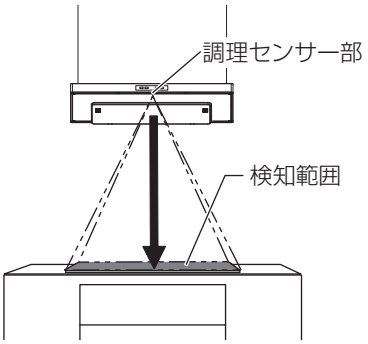
「弱め」になる例

・グリルでさんまなど油の多い食材を焼き、一時的に油煙が発生したとき。
・鍋に大量の食材を入れたとき。

●省エネ効果例



●検知範囲

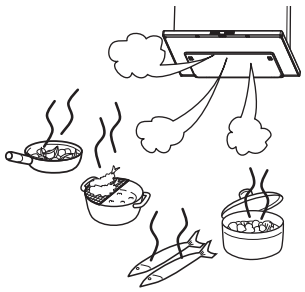


④「残置運転」で部屋に残ったニオイを排気

「切」ボタンを押してもすぐには停止せず、一定時間運転してから停止します。

運転中に「■ 切　ボタンを1回押す」または「調理機器からの「切」信号を受信する」と、そのときの風量から1段階弱め、さらに約5分ごとに風量を弱め、最後に停止します。

・残置運転中は風量ランプが点滅します。
・常時換気モードが設定されている場合は最後に停止せず、「常時」運転になります。（☞ 21ページ）



特長(続き)

⑤「油飛散運転」機能（油トルネード機能）で羽根の汚れ付着を低減

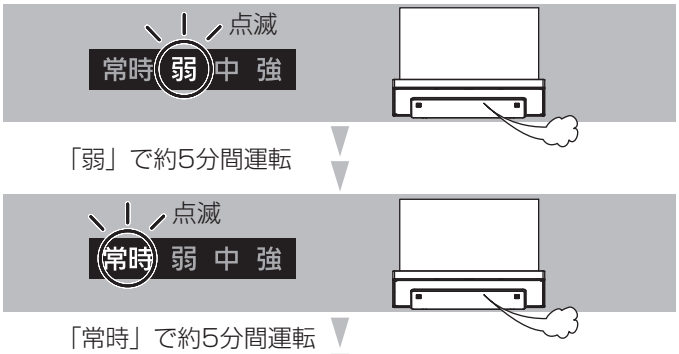
運転停止前に羽根を高速で回転させ、羽根に付着した油を取り除きます。

残置運転後に油飛散運転をします。
※残置運転前に「常時」で運転していた場合は油飛散運転しません。

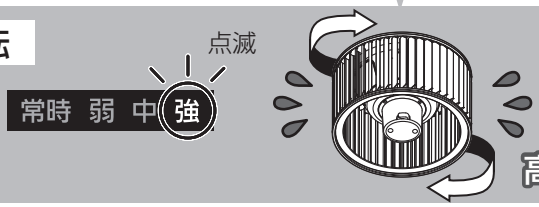
例えば、
●「中」運転を停止したとき

または

残置運転



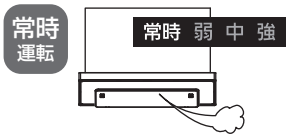
油飛散運転



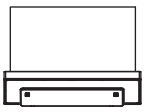
「強」で約10秒間運転

※この運転は解除できます。
（☞21ページ）

「常時換気モード：設定」のとき



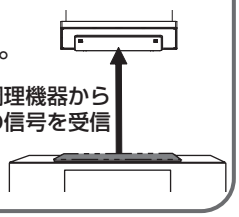
「常時換気モード：解除」のとき



⑥換気連動機能付調理機器と連動運転

（換気連動機能付の調理機器をご使用の場合）
調理機器と連動してレンジフードがエコナビ運転/停止します。

●調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。
（詳細は☞ 9ページ）



⑦「AiSEG2」接続で遠隔操作

（AiSEG2に接続されている場合）
レンジフードの運転を遠隔操作します。

●AiSEG2の画面やスマートフォンによってレンジフードを操作することができます。
※詳細はAiSEG2の取扱説明書を参照してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理に関するご相談窓口」へご相談ください。

水ぬれ禁止

モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない
ショートや感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

分電盤のブレーカーをぬれ手で切／入しない
感電のおそれがあります。

禁止

ガス漏れのときはレンジフードのスイッチを入れたり切ったりしない
スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

交流100 Vで使用する
火災・感電の原因となります。

電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう
火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

接触禁止

運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない
けがをするおそれがあります。

禁止

フード本体の上には物を置かない
落下により、けがをするおそれがあります。

お手入れの際は、換気連動機能付調理機器を操作しない
けがをするおそれがあります。

フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない
落下して、けがをするおそれがあります。

照明を直接見ない
目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使用を終了した製品は放置せず、撤去する
万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する
けがをするおそれがあります。

本体はしっかり取り付けられているか、確認する
落下により、けがをするおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下したり、けがをするおそれがあります。

お手入れの際は、次のことを守る
・厚手のゴム手袋を使用する
・部品が十分冷めてからおこなう
・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする（☞ 8ページ）
AiSEG2に接続されている場合、通信アダプタの電源も切る
やけどやけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

使用中は

■調理の際は、必ずレンジフードを運転してください。

運転しないとレンジフード内が高温になり、故障の原因となります。

■レンジフード運転時は、十分な給気を確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■油に火がついたときは運転を停止してください。

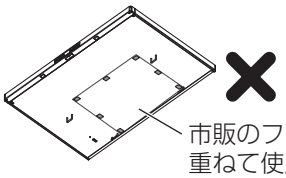
レンジフードが動作していると火の勢いがさらに強くなります。

■調理部周辺に風があたらないようにしてください。

エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。
特に、IH調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がフードから漏れやすくなります。

■フィルターやフード本体に市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

吸い込みが悪くなり、異音が発生する場合があります。



■炎のあがる調理はしないでください。

レンジフード内の異常高温による故障の原因となります。

■テレビやラジオなどは、フード本体から1 m以上離してお使いください。

放送電波に雑音が混入し、聞こえにくくなったり、耳ざわりに感じることがあります。

IH調理機器を使うときは

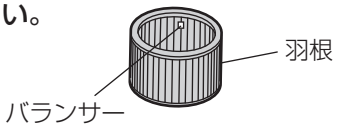
■冬期など気温の低い時期は、結露（水滴）が生じることがあります。

フード本体：結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。
整流板、オイルキャッチ：こまめに水を捨ててください。

お手入れのときは

■羽根をはずした状態でスイッチを入れないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。



■バランサーははずさないでください。

異音や故障の原因となります。

※バランサーがはずれた場合は、必ずお買い上げの販売店、工事店または26ページに記載の修理に関するご相談窓口に修理を依頼してください。

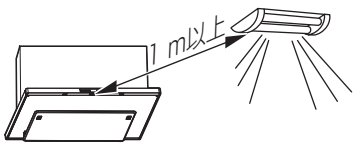
製品の移設やリフォーム時の注意

■受信部と照明器具を近づけすぎない。

照明器具が受信部から1 m以内に設置された場合、換気連動機能が正常に動作しないことがあります。

■直射日光があたるなど、極端に明るい場所には設置しない。

調理機器側からの赤外線の信号受信が妨げられ、動作しないことがあります。

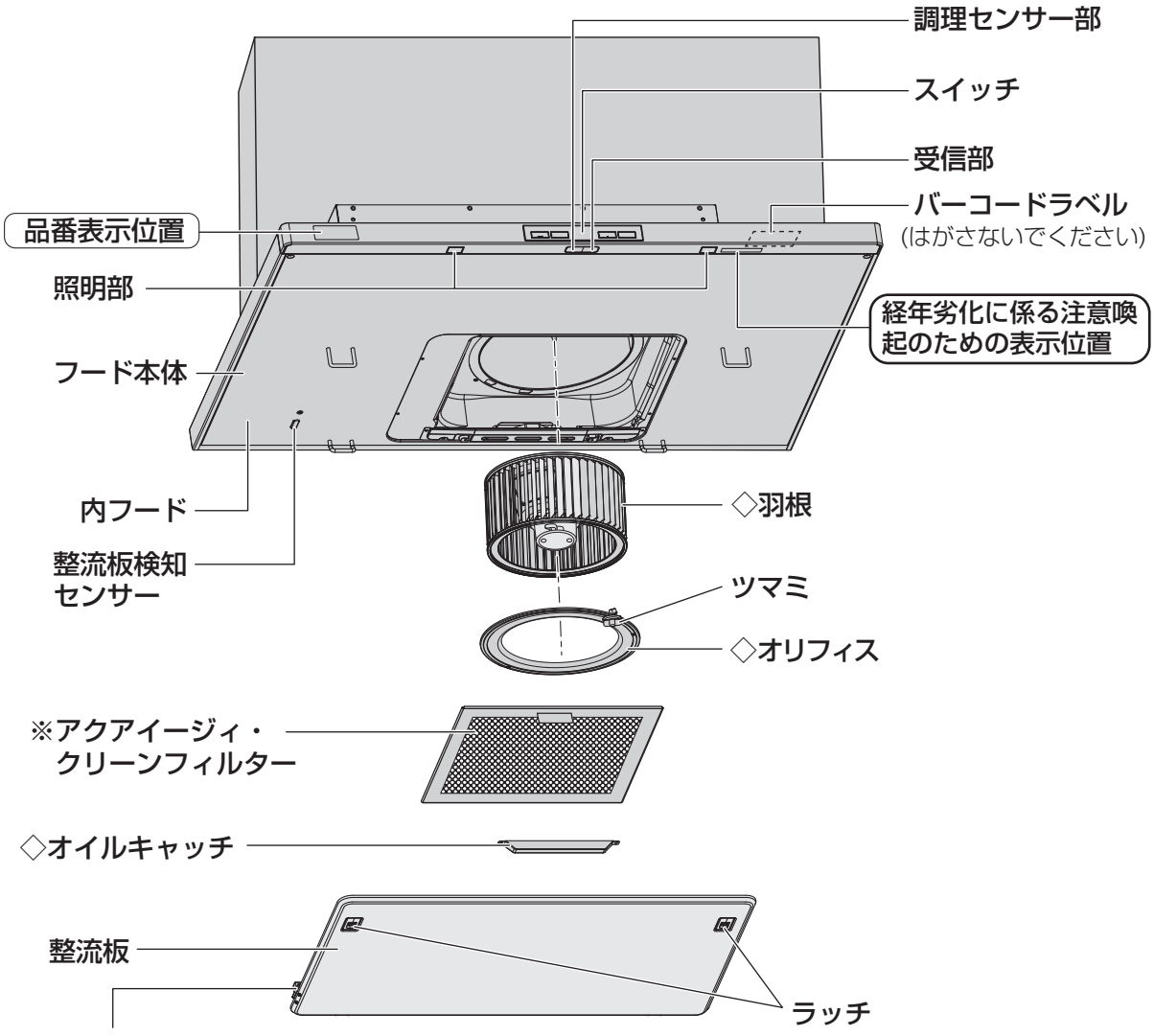


■レンジフード設置後、必ず「設置条件の初期設定」をおこなってください。

設置高さ、ガス、IH調理機器の設定をしてください。（☞22ページ）
設定しないままですと、エコナビ機能が正常に動作しません。

各部の名前 品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い **品番をご確認ください。**
（修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります）



センサーマグネット

センサーマグネットを整流板検知センサーが検知しています。
整流板をはずしている間は（🔑）ランプが点滅し、照明スイッチ以外の操作を受け付けません。
※ただし、ロック中には整流板をはずしても（🔑）ランプは点灯のままで、ロックを優先します

◇印　はつ油塗装をおこなっています。
※印　特殊処理（親水性塗装）をおこなっています。

使いかた

■スイッチ

エコナビ
エコナビ ボタン

ECONAVI
エコナビランプが点灯

停止中に押すとエコナビ運転を開始する

調理状況に合わせて風量を自動で制御します。
（**動作の目安** ☞ 3ページ）

・停止中に押すと、室内外の圧力差を少なくするため5秒後に羽根が回ります。
・風量が「強め」または「弱め」と感じる場合は、状況に応じて 🌀 ボタンで風量を切り換えてください。その場合、エコナビ運転は停止し、切り換えた風量で運転します。

風量切換 ボタン

風量の切り換えをする

停止中に1回押すと風量「常時」で運転します。
ボタンを押すごとに「ピ」と音が鳴り、風量が切り換わります。

常時 弱 中 強 → 常時 弱 中 強 → 常時 弱 中 強 → 常時 弱 中 強

＊レンジフード運転中は、風量に合わせて風量ランプが点灯します。

常時
住宅全体の連続換気。
油煙の非常に少ないとき。

弱〜強
油煙の量に合わせて使い分けます。
弱…油煙の少ないとき。
中…通常の運転のとき。
強…早く換気したいとき・油煙が多いとき。

照明 ボタン

照明をつける/消す

押すごとに点灯⇔消灯します。

■ 切
切 ボタン

運転中に押すと運転を停止する

残置運転（☞ 3ページ）を開始します。
残置運転終了時に照明が消灯します。

＊常時換気に設定されていると、停止せず常時運転になります。（☞ 21ページ）
もう1度押すとすぐに停止します。

排熱ランプが点滅しているときに運転を停止したい場合は
☼ と エコナビ を3秒以上同時押しで停止します。
（排熱運転が解除されます ☞ 20ページ）

停止中に3秒長押ししてボタンをロックする/解除する

お手入れの際、けが防止のためにボタンを操作できなくします。

ロック時は（ 🔒 ）ランプが点灯し、他のスイッチを操作しても運転しません。
（ピーピーピーピー音）

常時換気運転について

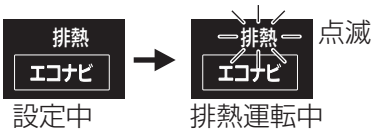
本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。
■常時換気設備として使用する場合は、スイッチ近傍に「24時間連続換気してください」のお願いラベルが貼ってあります。
・調理時やお手入れ時以外は、常に「常時」運転で連続換気をおこなってください。

排熱運転

室内の温度を検知して、室温が高くなると自動で強運転を開始し、低くなると停止します。

設定中は排熱ランプが点灯し、排熱運転中は点滅します。（設定／解除 ☞ 20ページ）

・排熱運転の開始温度は変更することができます。（☞ 20ページ）
（標準開始温度約32 ℃、高めの開始温度約35 ℃）
・室外が室内より暑いと、暑い空気を取り入れることがあります。
・レンジフード周辺の温度を測定しているため、室温が高くても
レンジフード周囲の温度が低いと運転しないことがあります。
・レンジフードで測定した温度と、温度計などで実際に測定した
温度は異なることがあります。



設定中　排熱運転中

・全館空調の場合、動作条件にいたらず運転しないことがあります。
また、長時間の排熱運転が続いた場合には、換気バランスが変化し、他の換気システムの換気量に影響を
およぼすことがあります。他の換気システムの換気量に影響がある場合は、排熱運転の使用をお控えください。
・発熱するもの（炊飯器等）、コンロ使用後の余熱などの影響で排熱運転を開始する場合があります。
・排熱運転を設定する際は、室内に空気の取り入れ口があることをご確認ください。
空気の取り入れが不十分な場合、換気性能が低下したり、帰宅時の扉の開閉が重たくなるおそれがあります。

換気連動機能（換気連動機能付調理機器をご使用の場合）

調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。

調理機器の操作	レンジフードの動作	風量ランプ
入	「エコナビ運転」し、照明が点灯　※1	風量ランプが点灯
切	残置運転したあと、停止し、照明が消灯　※2	風量ランプが点滅し、その後消灯

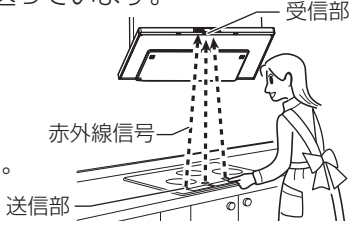
※1　エコナビ運転中に手動で風量を切り換えると、エコナビ運転は停止し、切り換え風量で連続運転します。
※2　常時換気モードに設定されているときはレンジフードは停止せず、風量「常時」で24時間連続運転します。

赤外線信号をさえぎると換気連動機能が働かないことがあります。

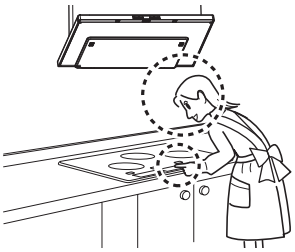
IH調理機器では

調理機器の送信部から本機の受信部へ
赤外線信号を送っています。

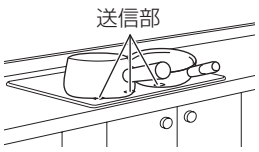
○
赤外線信号を
さえぎらない
ように操作する。



×
レンジフードの
真下に頭を近づ
けない。



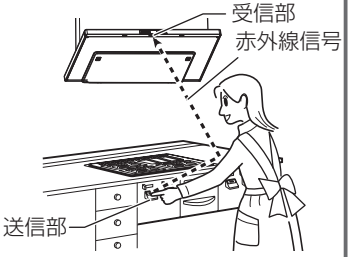
×
鍋などで、送信部
を隠さない。



ガス調理機器では

赤外線信号を人に反射させています。

○
カウンターから
約20～30 cm
離れ、送信部の
正面で操作する。



×

●次のような場合は連動しないことがあります。
・送信部に近すぎる
・送信部から離れすぎている
・正面に立っていない
・黒っぽい服を着ている
（赤外線信号が反射されにくいため）
連動しないときは、レンジフード本体の
スイッチで操作してください。

●ガス調理機器の電池が消耗すると正常に動作
しません。
調理機器の説明書を確認し、電池を交換して
ください。

・換気連動機能のご使用は、弊社換気連動機能付調理機器との組み合わせが必要です。
（他社製調理機器との組み合わせでは動作しないことがあります）
対応調理機器については販売店までお問い合わせください。
・調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。
・換気連動機能が正しく動作しているか、調理機器のスイッチでご確認ください。

お手入れのしかた

⚠ 警告

水ぬれ禁止

モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない

ショートや感電のおそれがあります。

⚠ 注意

接触禁止

運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない

けがをするおそれがあります。

禁止

お手入れの際は、換気連動機能付調理機器を操作しない

けがをするおそれがあります。

お手入れの際は、次のことを守る

- 厚手のゴム手袋を使用する
- 部品が十分冷めてからおこなう
- 本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする（☞ 8ページ）
  AiSEG2に接続されている場合、通信アダプタの電源も切る

やけどやけがをするおそれがあります。

お願い

■高い所での作業となりますので足場には十分気を付けてください。
■お手入れのときは調理をやめ、鍋などはレンジフードの下に置かないでください。
■部品の変色、変質、変形防止のため、高温（浴用より高い）の湯の漬け置き洗いはしないでください。
オリフィス以外は食器洗い乾燥機の使用はできません。
■高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。
■汚れを長期間放置すると、汚れが落ちなくなったり、部品がはずれなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
■塗装の変質、変色、はがれ防止のため下記のものなどは使わないでください。

塗装の変質・変色・はがれ防止のため、下記のようなものなどは使用しないでください。

お手入れには、ネオマライト.H (FY-XA300) をおすすめします。

樹脂部品への影響が少ないことを弊社で確認した台所用アルカリ性合成洗剤です。
換気扇やレンジフードの油汚れに有効です。
ネオマライト.Hは、最寄りのパナソニック販売店でお買い求めいただけます。

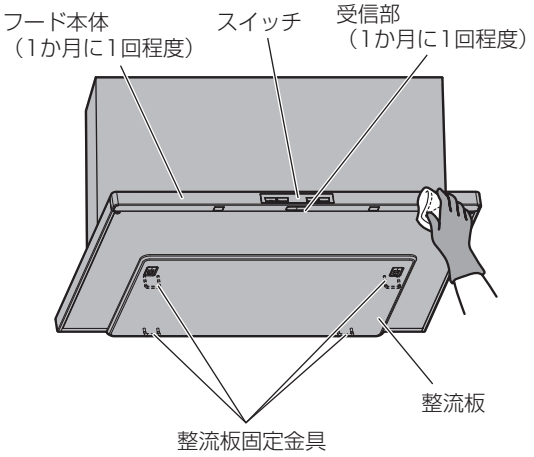
- ご使用時は本体に表示している使用方法、ご使用上の注意をよくお読みください。
- その他のアルカリ性合成洗剤は、変色・破損のおそれがあります

お手入れ
適宜

フード本体外側のお手入れ

お願い

・水や洗剤などを直接吹きつけないでください。故障や誤動作の原因になります。



お願い

・日常的にお手入れをしてください。油汚れを放置すると、受信性能が低下します。
・換気連動機能をご使用の場合は、調理機器の送信部の汚れもふき取ってください。

①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。

②水ぶきする。

※ご使用頻度や環境、調理の種類により汚れ度合いは異なり、付着した水分や油分が滴下するおそれがありますので、滴下前にふき取ってください。

お願い

・整流板固定金具を変形させないでください。整流板が落下するおそれがあります。
・部品が傷んできたら、早めに交換してください。

はつ油塗装について

■オイルキャッチ、オリフィス、羽根には油汚れの取りやすい「はつ油塗装（フッ素処理）」をしています。

お願い

・コーティングの効果を生かすため、「お手入れのしかた」にしたがって掃除してください。長い間掃除しないと油汚れが落ちにくくなることがあります。
・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを傷付けますので使用しないでください。

「1か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れのしかた(続き)

お手入れ
1か月に
1回程度

お手入れの前に

①スイッチをロックする

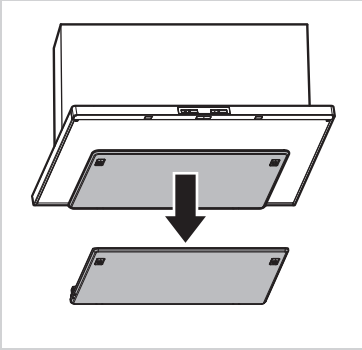
「切」を3秒長押し
※AiSEG2に接続されている場合は、通信アダプタの電源も切る。

②厚手のゴム手袋をする

※お手入れのあとはスイッチのロックを解除してください。
（「切」を3秒長押し）
※AiSEG2に接続されている場合は、通信アダプタの電源も入れる。

1 整流板のお手入れ（はずしかた／汚れを取る）

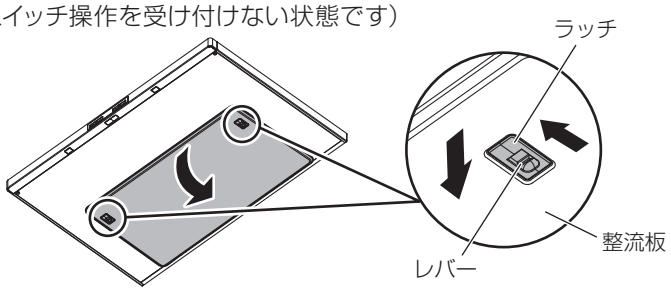
取りはずす



※油や結露水が流れ出ることがあります。
整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水はキッチンペーパーなどでふき取ってください。

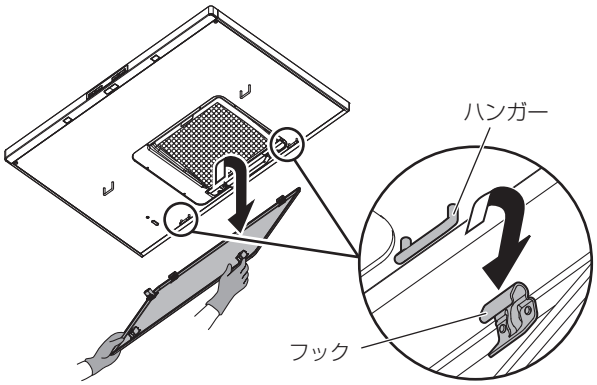
①ラッチのレバーを手前に引きながら、引き下げる。

※整流板をはずすと「ピーピーピーピー」と音が鳴ります。
（整流板検知センサーにより、運転を一時停止し、照明スイッチ以外のスイッチ操作を受け付けない状態です）



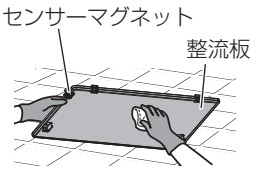
お願い 整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
落下させると、変形および破損のおそれがあります。

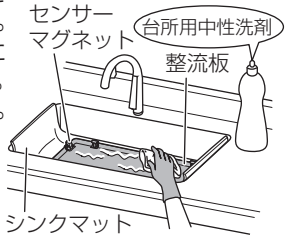
②フックをハンガーからはずす。



汚れを取る

①水分を含ませたやわらかいスポンジ・ふきんなどで汚れをふき取る。
②がんこな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。洗剤が残らないように水ぶきする。

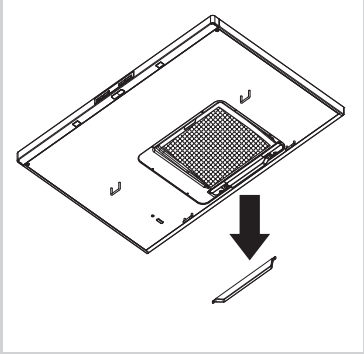




お願い
- はずした整流板は平らな場所でお手入れをしてください。変形・傷の原因となります。
- シンク内で洗う場合は、やわらかい布または市販のシンクマットを敷いてください。整流板やシンクに傷がつく原因になります。
- 整流板に強い力を加えないでください。変形・傷の原因となります。
- センサーマグネットは絶対にはずさないでください。故障の原因となります。

2 オイルキャッチのお手入れ（はずしかた／汚れを取る）

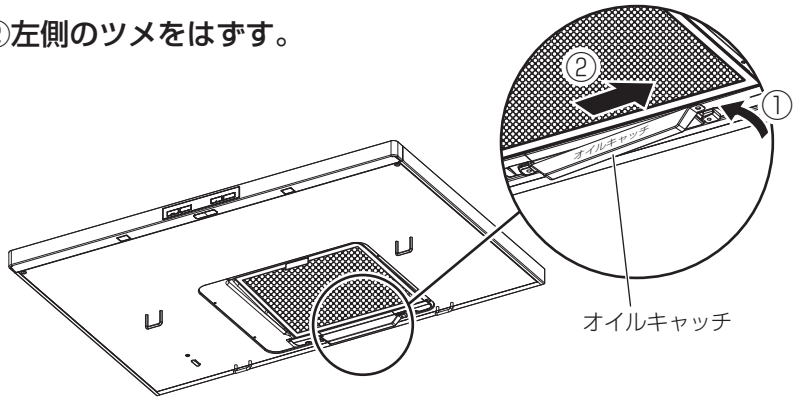
取りはずす



※油だれに注意してください。

①右側のツメを溝からはずす。

②左側のツメをはずす。

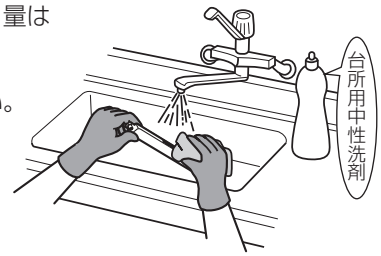


汚れを取る

①油や結露水がたまっている場合は、キッチンペーパーなどでふき取ってから、台所用中性洗剤で洗う。

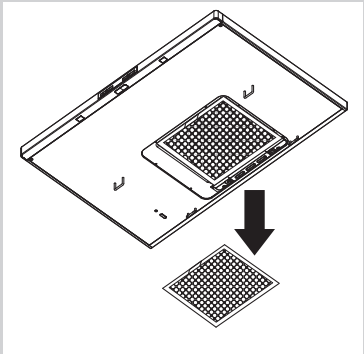
②洗剤が残らないようによく洗い流し水分をよくふき取り、乾燥させる。

※使用状況により、油や結露水のたまる量は異なります。
※冬期など結露の生じやすい時期は、たまった水をこまめに捨ててください。
※油の使用量、コンロの違いなどの使用環境により油や結露水がたまらない場合がありますが、異常ではありません。



3 フィルターのお手入れ（はずしかた／汚れを取る）

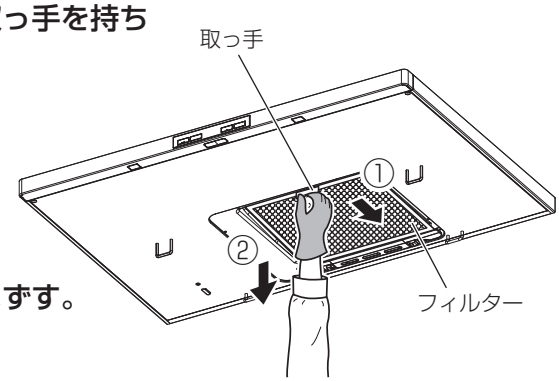
取りはずす



※油だれに注意してください。

①フィルターの取っ手を持ち壁側に押す。

②下へおろしてはずす。

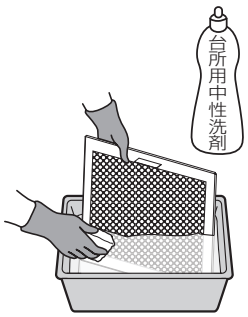


→次ページへ

お手入れのしかた(続き)

汚れを取る

①ぬるま湯を入れた容器にフィルターを浸し、樹脂製ブラシなどで汚れを洗い落とす。



お願い

・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
・金属たわしなどは使わないでください。
・食器洗い乾燥機では洗わないでください（アルカリ性洗剤を使用しているため、変質、変色が生じることがあります）
・常時換気設備としてご使用の場合、フィルターにホコリが付着して吸い込みが悪くなることがありますのでこまめにお手入れしてください。

②水分をふき取り、乾燥させる。

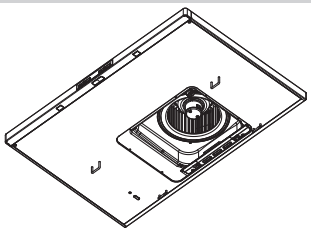
アクアイージィ・クリーンフィルターについて

■フィルター生地(アルミ)に親水性塗料(セラミック系)をコーティングしたものです。
油汚れが水洗いで落とせます。

お願い
・コーティングの効果を生かすには、早期の掃除（月に１回程度）が必要です。
長い間掃除しないと油汚れが落ちにくくなることがあります。
・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを傷付けますので使用しないでください。

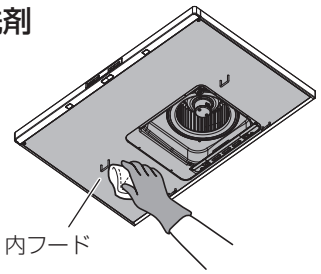
4 内フードのお手入れ（汚れを取る）

汚れを取る



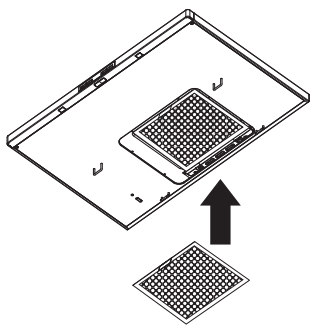
①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。

②水ぶきする。



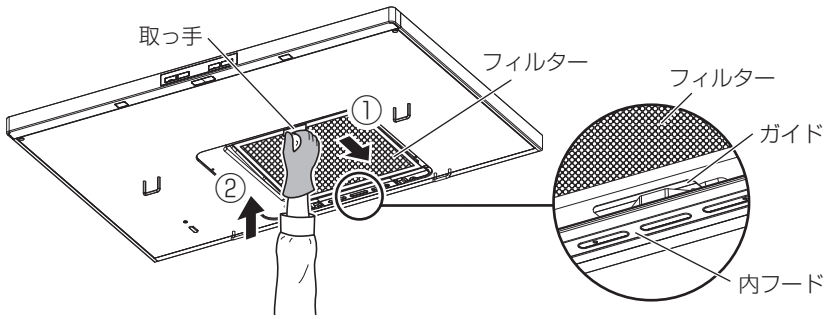
5 フィルターを取り付ける

取り付ける



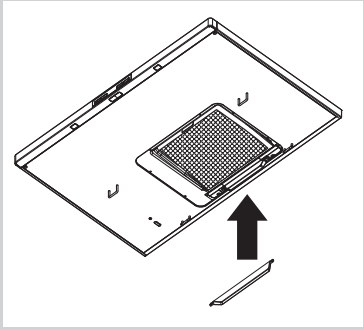
①フィルターの取っ手を持ち、ガイドと内フードの間に差し込みながら壁側に押す。

②押し上げて取り付ける。
※取っ手が手前側になるように取り付けてください。



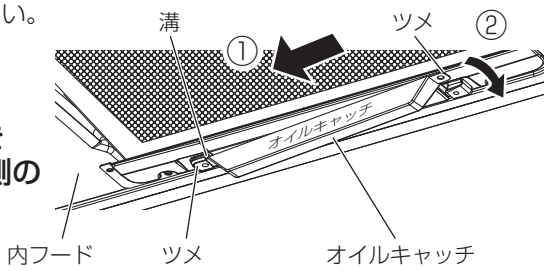
6 オイルキャッチを取り付ける

取り付ける



① オイルキャッチのツメを内フードの溝に差し込む。

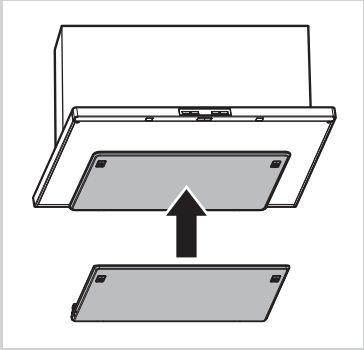
※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。



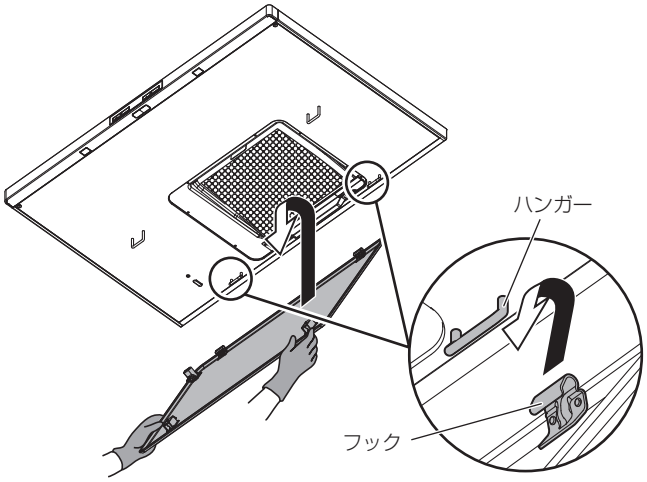
② もう1方のツメを内フードの反対側の溝に差し込む。

7 整流板を取り付ける

取り付ける

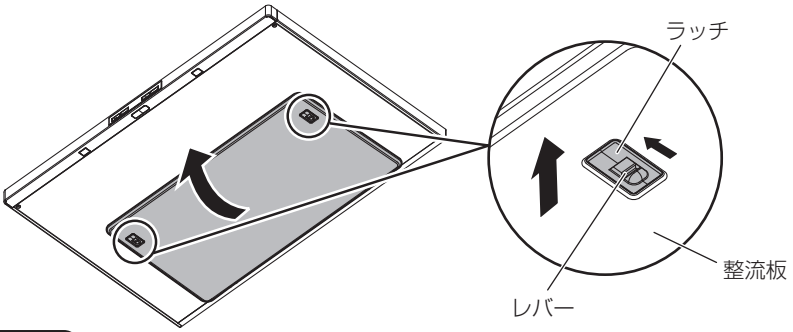


①フックをハンガーに掛ける。



②ラッチのレバーを手前に引きながら、押し上げる。

※整流板を取り付けると「ピ」と音が鳴ります。
（運転一時停止が解除され、整流板をはずす前の運転状態に戻ります）



お願い
- 整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。落下させると変形および破損のおそれがあります。
- 整流板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。
- 整流板がはずれていると照明スイッチ以外のスイッチ操作ができません。

「1年に1回程度のお手入れ」→次ページ

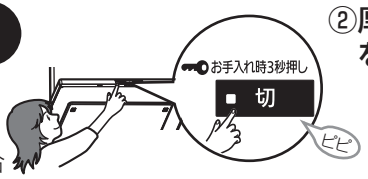
お手入れのしかた(続き)

お手入れ
1年に
1回程度

お手入れの前に

①スイッチをロックする

「切」を3秒長押し
※AiSEG2に接続されている場合は、通信アダプタの電源も切る。



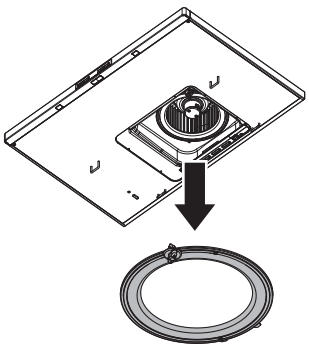
②厚手のゴム手袋をする

※お手入れのあとはスイッチのロックを解除してください。
（「切」を3秒長押し）
※AiSEG2に接続されている場合は、通信アダプタの電源も入れる。

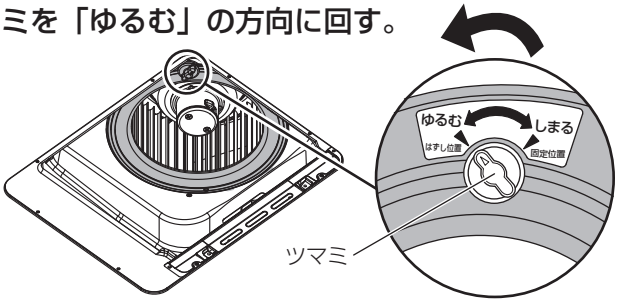
1 ～ **7** 整流板・内フード・フィルター・オイルキャッチのお手入れをする。
（12～15ページ）

8 オリフィスのお手入れ（はずしかた／汚れを取る／取り付ける）

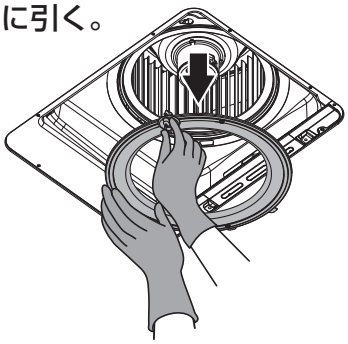
取りはずす



①ツマミを「ゆるむ」の方向に回す。



②手前に引く。



お願い

・オリフィスは手でささえ、落下しないようにゆっくりはずしてください。
・油や結露水が流れ落ちないようにオリフィスをはずしてください。

汚れを取る

※オリフィスは食器洗い乾燥機で洗うことができます。
※他の食器や調理小物と一緒に洗浄しないでください。
※食器洗い乾燥機を使う頻度が多いと、はつ油塗装効果が弱くなったり、塗装がはがれることがあります。
※深い傷があるとさびの原因となります。
早めに交換してください。
※汚れによっては食器洗い乾燥機で汚れが落ちきらない場合があります。その際は手洗いと併用してください。
※オリフィス以外は、食器洗い乾燥機は使用できません。
さびや変色のおそれがあります。

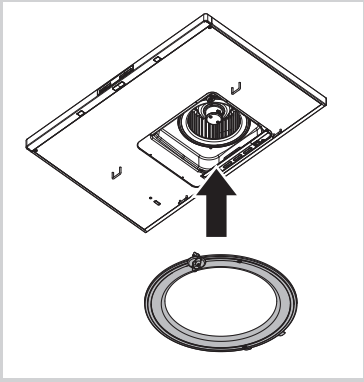
①ぬるま湯を入れた容器に浸し、やわらかいスポンジなどで汚れを洗い落とす。

お願い

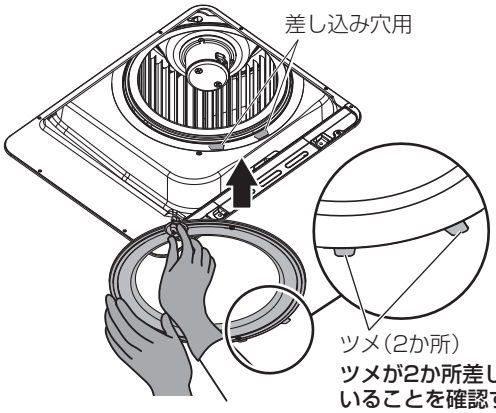
・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
・金属ブラシなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

取り付ける

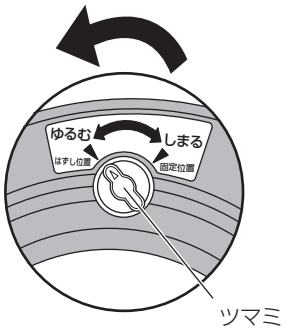


①ツメ(2か所)を差し込み用穴に差し込む。

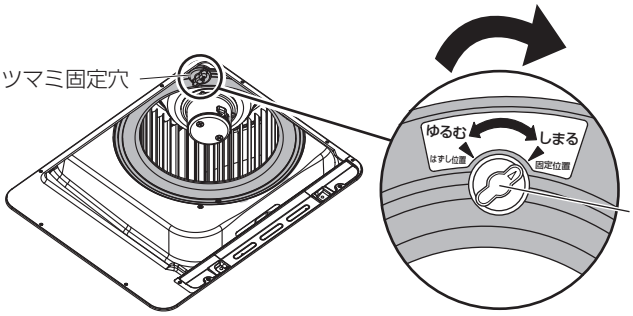


ツメが2か所差し込まれていることを確認する。

②ツマミを「ゆるむ」に合わせる。



③ツマミを「ツマミ固定穴」に入れ、「しまる」に合わせる。



ツマミを引っ張ってオリフィスがはずれないことを確認する。

1 ～ **7** オイルキャッチ・フィルター・整流板を取り付ける。
（12～15ページ）

「羽根の汚れが気になったとき」→次ページ

お手入れ
羽根の汚れが気になったとき
(1~3年に1回程度)

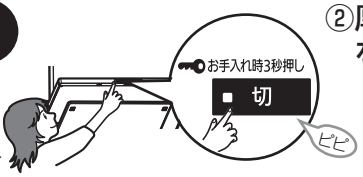
お手入れのしかた(続き)

1 ～ **8** 整流板・内フード・フィルター・オイルキャッチ・オリフィスのお手入れをする。 （12～17ページ）

お手入れの前に

①スイッチをロックする

「切」を3秒長押し
※AiSEG2に接続されている場合は、通信アダプタの電源も切る。

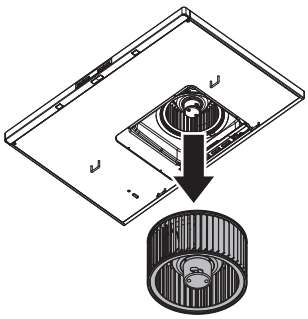


②厚手のゴム手袋をする

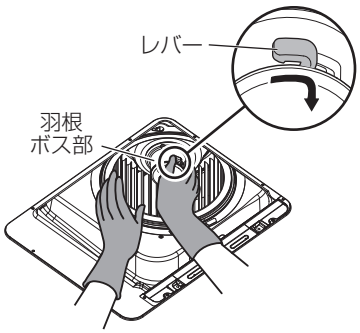
※お手入れのあとはスイッチのロックを解除してください。
（「切」を3秒長押し）
※AiSEG2に接続されている場合は、通信アダプタの電源も入れる。

9 羽根のお手入れ

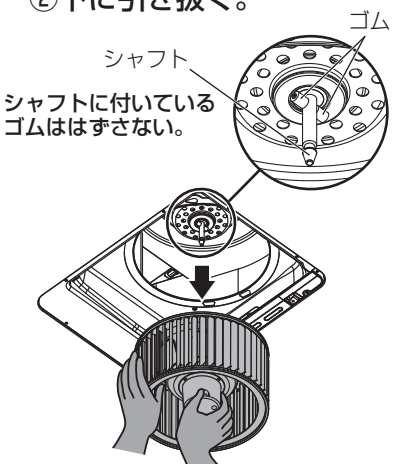
取りはずす



①羽根ボス部のレバーを矢印の方向に押しながら、



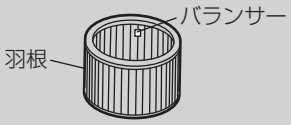
②下に引き抜く。



羽根は手でささえ、落下しないようにゆっくりはずす。

汚れを取る

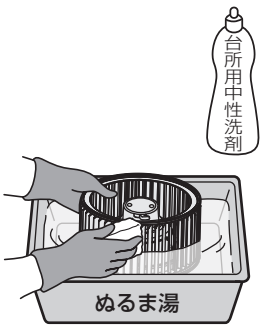
※羽根の回転バランスをとるためにバランサー(重り)が付いている場合があります。絶対にはずしたり、動かしたりしないでください。異常や故障の原因となります。



①ぬるま湯を入れた容器に浸し、やわらかいスポンジなどで汚れを洗い落とす。

お願い

・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
・金属ブラシなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

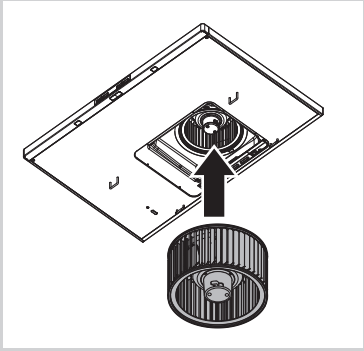


②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

お願い

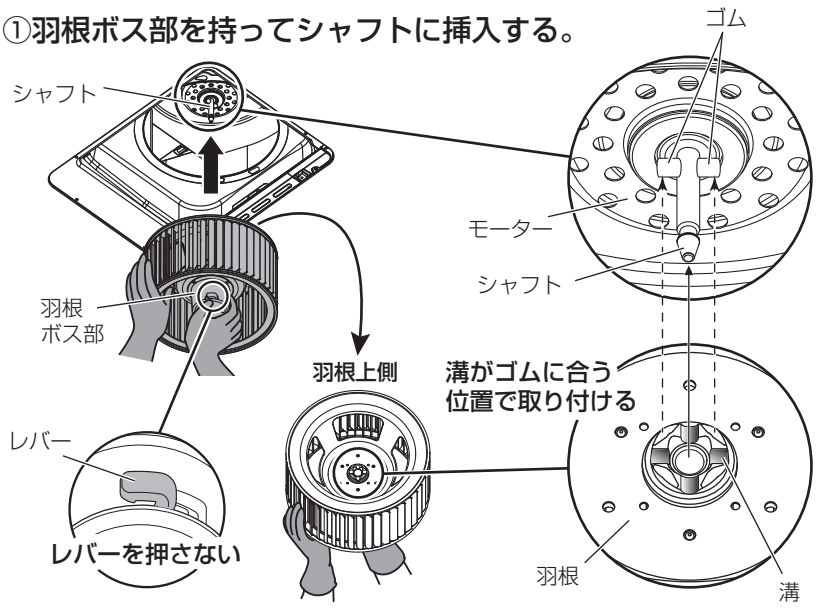
・羽根はシャフトに挿入する部分に潤滑剤などをさしてから取り付けてください。
羽根ボス部がシャフトに錆付くことを防止します。

取り付ける

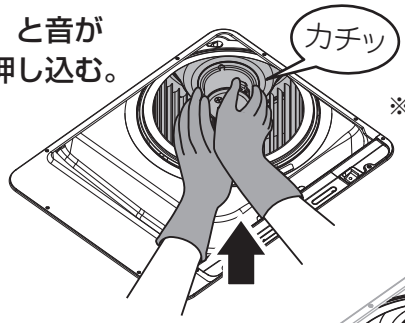


※羽根は変形させないよう十分気を付けてください。
※シャフトにゴムが付いているか確認してください。

①羽根ボス部を持ってシャフトに挿入する。



②「カチッ」と音がするまで押し込む。

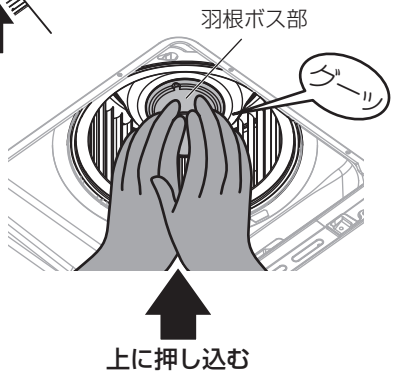


※羽根が突き当たるまで十分に押し込むとはまります。

お願い

1. 羽根は両手で奥まで強く押し込む。

※突き当たるまで押し込んでください。
※羽根ボス部を両手で上に強く押してください。
※取り付け時はカウンターに乗らないで、踏み台などを使用してください。カウンターが割れる可能性があります。



2. 両手で強めに引っ張って確認する。

※固定が不十分な場合、はずれることがあります。ご注意ください。

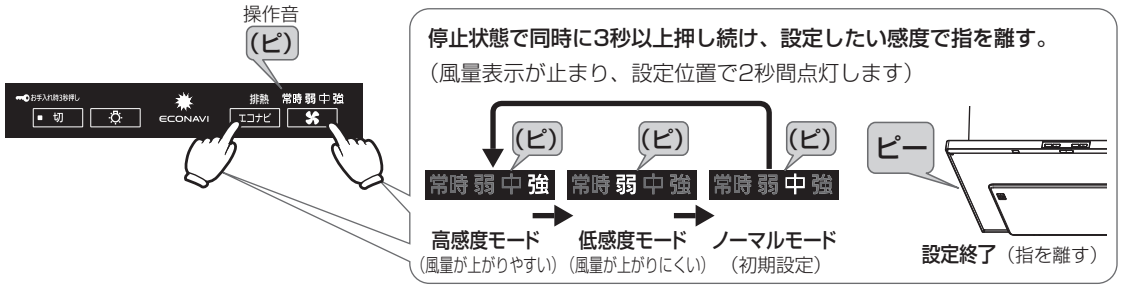
※羽根が完全に挿入されていないと、羽根がはずれる原因になります。

設定を変えたいとき

下記の設定は、１度設定すれば、電源プラグを抜いたり、停電しても記憶されています。再度設定する必要はありません。

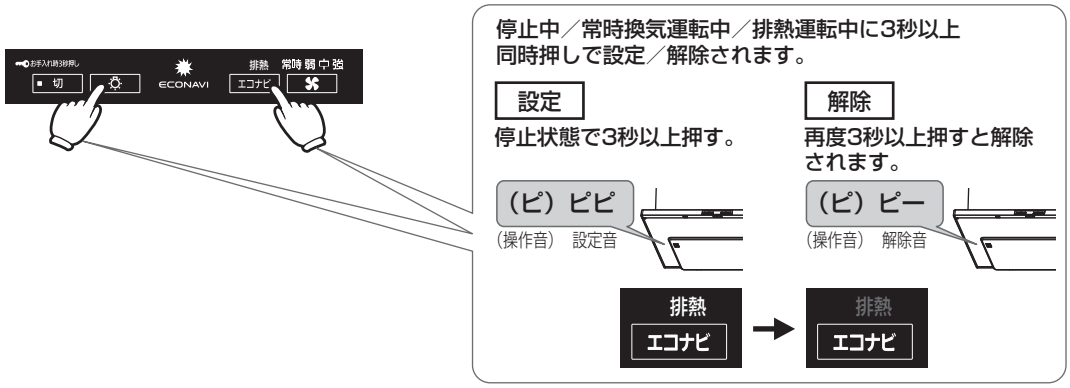
エコナビ運転のセンサー感度を変える

風量を「上がりやすく」または「上がりにくく」します。
販売時は「ノーマルモード」です。



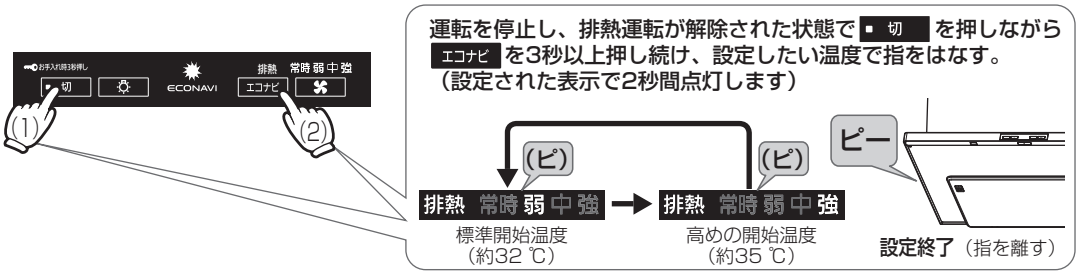
排熱運転の設定/解除

室内の温度を検知し、室温が高くなると自動で強運転を開始する機能です。販売時は「解除」されています。



排熱運転の開始温度を変える

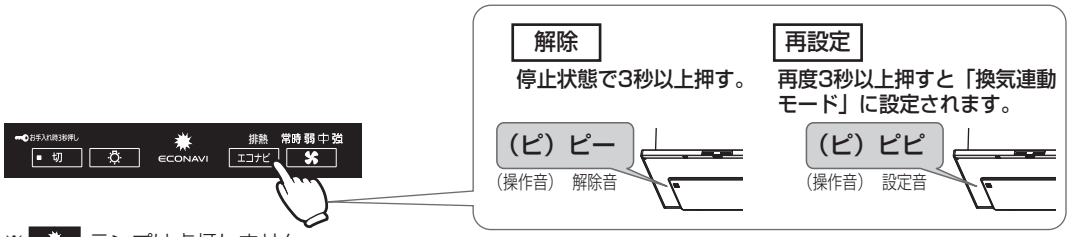
排熱運転の頻度を減らしたい場合に排熱運転の開始温度を高めに設定できます。
販売時は「標準開始温度」に設定されています。



※ 切 のみを3秒以上長押しするとスイッチがロックします。
解除するには 切 を再度3秒長押ししてください。

換気連動モードの設定/解除

調理機器の「切/入」と連動してエコナビ運転します。
販売時は「設定」されています。



※ ECONAVI ランプは点灯しません。

常時換気モードの設定/解除

レンジフードを常時換気設備として使用する場合に設定します。
販売時は「解除」されています。

※スイッチ近くに 24時間連続換気してください のラベルが貼ってある場合、建築基準法により常時換気が必要な建物です。
「常時換気」運転を設定してご使用ください。

設定

停止状態で3秒以上押す。

（ピ）ピピ
（操作音） 設定音

※調理機器を切るか、「切」を1回押すと、残置運転後に常時で24時間連続換気します。

解除

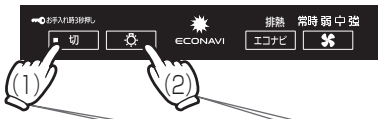
再度3秒以上押すと「常時換気モード」が解除されます。

（ピ）ピー
（操作音） 解除音

※調理機器を切るか、「切」を1回押すと、残置運転後に停止します。

油飛散運転の設定/解除

残置運転後に羽根を高速回転させ、羽根に付着している油を取り除きます。
販売時は「設定」されています。



※「解除」にすると羽根の汚れが低減できません。

解除

(1)停止状態で ■ 切 を押しながら
(2) ☼ を3秒以上を押す。

解除音 ピー

再設定

再度3秒以上押すと「高速回転モード」に設定されます。

設定音 ピピ

※ ■ 切 のみを3秒以上長押しするとスイッチがロックします。
解除するには ■ 切 を再度3秒長押ししてください。

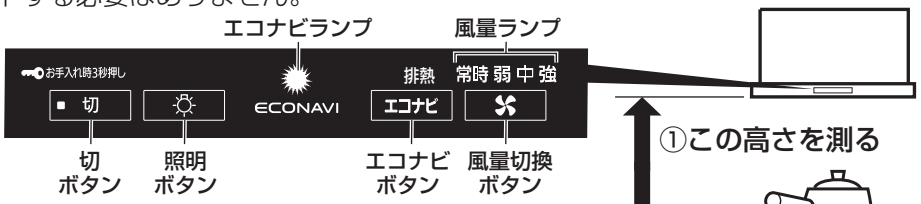
設定を変えたいとき（続き）

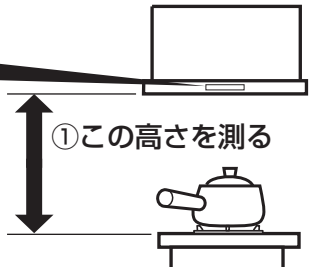
設置条件の初期設定 リフォーム、調理機器の買い替え、「 」「ECONAVI」が点滅しているときに。

この操作は、設定が正しくされていないと思われるときのみにおこなってください。

※ ランプと ECONAVI ランプ（緑）が点滅しているときは、初期設定がされていません。
下記に従い設定をおこなってください。設定が終了するとランプは消灯します。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。

＜スイッチ＞





① レンジフードの下端と調理機器上部の距離を測る。
（右図参照）

② ■ 切 を3秒以上押してスイッチをロックする。
（「ピピ」と音がして、 ランプが点灯します）

③ 照明 を押しながら、風量切換 を3秒以上押す。
（「ピピ」と音がして設定しているランプ（ECONAVI、風量ランプ）が点灯します）

④ エコナビ を押して使用調理機器の種類を選択する。

ECONAVI ランプ	使用調理機器
点灯	IH調理機器
点滅	ガス調理機器

（ランプ切り換わり時に「ピ」と音がします）

⑤ 風量切換 を押して①で測った距離を設定する。
（ランプが下記のように切り換わり、都度「ピ」と音がします）

ランプ点灯状態	距離（mm）
常時 点灯	800 ～ 849
弱 点灯	850 ～ 899
中 点灯	900 ～ 949
強 点灯	950 ～ 1000
常時＋**弱** 点灯	600 ～ 649 ※
常時＋**中** 点灯	650 ～ 699 ※
常時＋**強** 点灯	700 ～ 749 ※
弱＋**強** 点灯	750 ～ 799 ※

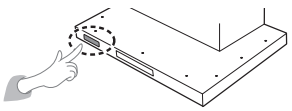
※防火性能評定品のガス調理機器または特定安全 IH 調理器適合品の IH 調理機器との組み合わせにおいてのみ、600 ～ 799（mm）で設置することが可能です。

⑥ ■ 切 を押して設定を終了する。
（「ピー」と音がしてランプがすべて消灯します）

故障かな！？ 修理を依頼される前に次の点をもう１度お調べください。

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

1
下記の項目を読み、該当する内容がないか確認する。
該当する項目が無ければ・・・

2 
「品番表示位置」で、製品の品番を確認する。

3
お買い上げの販売店または26ページに記載のご相談窓口に電話する。

症　　状	原　　因	対　応（参照ページ）
運転しない **遠隔操作で運転しない** （AiSEG2に接続されている場合）	スイッチがロックされていませんか。 （🔑 ランプが点灯）	ロックを解除してください。(8ページ)
	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
	整流板がはずれていませんか。 （🔑 ランプが点滅）	整流板を取り付けてください。
	＜AiSEG2に接続されている場合＞ AiSEG用通信アダプタの電源スイッチは入っていますか。	AiSEG用通信アダプタの電源スイッチを入れてください。詳細は、AiSEG用通信アダプタの取扱説明書を参照してください。
	＜AiSEG2に接続されている場合＞ AiSEG2の設定がされていますか。	AiSEG用通信アダプタの取扱説明書を参照してください。
吸い込みが悪い	屋外フードが目づまりしていませんか。	屋外フードを清掃してください。
	フィルターが油、ホコリなどで目づまりしていませんか。	清掃してください。 （12～15ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	エアコンなどの風があたっていませんか。	風があたらないようにしてください。
	設置条件の設定は正しいですか。	設定が正しいかご確認ください。（22ページ） それでも直らないときは、エコナビ運転のセンサー感度を変更し、排気風量を（「上がりやすく」または「上がりにくく」に）設定することができます。(20ページ)
換気連動しない （調理機器を「入・切」してもレンジフードが動作しない）	換気連動モードが解除されていませんか。	換気連動モードを再設定してください。(20ページ)
	送信部・受信部が汚れていませんか。	清掃してください。(11ページ)
	<IH調理機器の場合> 鍋などで送信部が隠されていませんか。	送信部が隠れないようにしてください。(9ページ)
	<ガス調理機器の場合> ・赤外線信号が反射できていないおそれがあります。	送信部の近くに立ちすぎたり、離れすぎている場合、動作しないことがあります。(9ページ)
	<ガス調理機器の場合> ・調理機器の電池が消耗していませんか。	調理機器の電池を確認してください。（9ページ）
調理機器側の操作で羽根の運転が停止しない	常時換気モードに設定されていませんか。	設定を解除してください。（21ページ）

故障かな！？（続き）

症　　状	原　　因	対　応（参照ページ）
給気電動シャッターが閉じるのが遅い	―――	故障ではありません。 シャッターからの風切り音を低減させるためです。
急に動き始める	油飛散運転が設定されていませんか。	油飛散運転の運転音が気になる場合は設定を解除してください。 （21ページ）
	＜AiSEG2に接続されている場合＞ 遠隔操作で運転していませんか。	遠隔操作を解除したい場合は、 設定を変更してください。 詳細は、AiSEG2またはAiSEG用通信アダプタの取扱説明書を参照してください。
	排熱運転が設定されていませんか。 （**排熱**ランプが点滅）	排熱運転の設定は解除することができます。（20ページ）
排熱運転の解除操作をしていないのに解除される	排熱運転を開始してから24時間経過していませんか。	故障ではありません。 排熱運転が継続すると運転を停止し、設定を解除する仕様です。 排熱運転を継続したい場合は、 もう１度設定してください。 （20ページ）
運転終了直後に風切り音がする	電動シャッターを使用していませんか。	故障ではありません。 シャッターが閉まるときに空気の通路が狭くなるために起こる音です。
異常音がする	オリフィス固定のツマミがゆるんでいませんか。	ツマミを締め直してください。 （17ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	羽根の取り付けが不十分なおそれがあります。	羽根を取り付け直してください。 （18～19ページ）
「🔧」と「ECONAVI」ランプが同時に点滅している	「設置条件の初期設定」がされていません。	「設置条件の初期設定」を参考に設定してください。（22ページ）
「常時」「弱」「中」「強」ランプがすべて同時に点滅している	（初めてお使いの場合） 梱包材が取りはずされていない可能性があります。	整流板、フィルター、オリフィスをはずし、梱包材を取りはずしてください。（12～13、16ページ） １度分電盤のブレーカーを切ってから再度運転してください。
	モーター故障のおそれがあります。	使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、買い上げの販売店、工事店または26ページに記載の修理に関するご相談窓口にお問い合わせください。
「常時」＋「中」と「弱」＋「強」ランプが交互点滅している	基板故障のおそれがあります。	
「ECONAVI」ランプが点滅している	センサー故障のおそれがあります。	
レンジフード運転中、風量ランプが点滅している	残置運転中は、風量ランプが点滅します。	故障ではありません。

処置したあとに、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または26ページに記載の修理に関するご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　)　　–
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」(23 ～ 24 ページ) でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	フラット形レンジフード
●品　番	
●故障の状況　できるだけ具体的に	

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、26 ページに記載のご相談内容に応じた窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

品　番	質量(kg)
FY-60DED3	14
FY-75DED3	15.5
FY-90DED3	16.5

定　格	風量調節	消費電力(W)	換気風量(m^3/h)	騒音(dB)
単相100 V 50/60 Hz	強	24	420	42
	中	11.4	300	35
	弱	5.6	180	26
	常時	4.1	135	21.5

●上記仕様は静圧 0 Pa(パスカル)時の値です。
静圧 0 Pa(パスカル)とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0(ゼロ)」の状態を示します。
●照明の消費電力　5 W
●このレンジフードは、ご使用にならないときでも約 1 Wの電力を消費しています。
●このレンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
●消費電力・換気風量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。
●騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● **「経年劣化とは」**
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本産業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100 Vまたは単相200 V	機器の定格電圧による
	周波数	50 Hzおよび / または60 Hz	
	温度	20 ℃	JIS C 9603参照
	湿度	65 %	
	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	
注[a)] 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。			

パナソニック　総合お客様サポートサイト　http://www.panasonic.com/jp/support/

換気送風商品 使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル　携帯・PHS OK

パナは　サンイチヨン
0120-878-314

受付時間 9:00～18:00（年中無休）

■FAX **0570-044-500**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

パナソニック ライフソリューションズ 修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル　携帯・PHS OK

パナニ　イコー
0120-872-150

【受付時間】
月～土 / 9:00 ～ 19:00
日・祝日・年末年始 / 9:00 ～ 18:00

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6906-1090

パナソニック ライフソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
・ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

愛情点検　長年ご使用のレンジフードの点検を！

このような症状はありませんか	ご使用中止
• スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。 • 運転中に異常音がしたり振動がある。 • 異臭がする。 • その他、異常を感じる。	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2020

（きりとり）

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご提示がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.修理ご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

見本

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

（きりとり）

Panasonic

出張修理

レンジフード保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※ 品　番 お買い上げの製品品番□にチェックしてください	□ FY-60DED3 □ FY-75DED3 □ FY-90DED3
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間
※ お買い上げ日	年　月　日
※ お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　－
※ 販売店	住所・販売店名 電話（　）　－

見本

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　　TEL(0568)81-1511（大代表）

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

（きりとり）

（きりとり）